

環境情報をどのように発信していますか？

JR東日本グループでは、Webや社会環境報告書、イベントなど、さまざまなメディアを通して環境情報を発信しています。

皆さまとのコミュニケーションを通じて、環境への取り組みを一段と推進していきます。

環境情報の発信

各種媒体による情報提供

JR東日本は、1996年以降、毎年継続して環境報告書を発行しています(2002年からは社会環境報告書として発行)。また、グループ会社では、2004年からジェイアール東日本商業開発(株)が環境報告書を発行しています。

より多くの方に環境情報に触れていただくため、お子さま向けの小冊子『おーきなーれエコのきもち。』や、社会環境報告書ダイジェスト版を発行し、広く配布しているほか、2005年度は新幹線車内情報誌『トランヴェール』に社会環境報告



新幹線車内で配布している情報誌トランヴェールにも環境情報を掲載



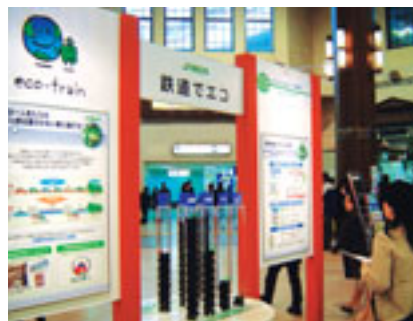
2005年度、JR東日本の環境活動のページには54万件のアクセスがありました

書の抜粋を掲載し、多くのご意見ご感想をいただきました。このほか、インターネットや車内ポスターなどのメディアを通じても情報を発信しています。今後もわかりやすい情報開示と積極的な環境コミュニケーションを推進します。

各種イベントでの情報発信

2005年も東京ビッグサイトで開催された「エコプロダクツ2005」に出展し、JR東日本グループの環境保全活動を紹介。展示内容に関するクイズに、約2,000名の方にご参加いただきました。

このほか、毎年自治体や企業などと連携して、環境情報の発信を目的としたイベントを共催しています。2006年3月に、東京ガス(株)と「ガス&レールウェイ〜第3回東京ガスとJR東日本の環境への取り組み展〜」を東京駅にて共催しました。国民運動「チーム・マイナス6%」の参加企業として環境にやさしいライフスタイルなどを紹介したほか、環境省・全国地球温暖化防止活動推進センターの協力により、地球温暖化問題への理解を深めていただける展示を行いました。



東京駅にて東京ガス(株)と共催した「ガス&レールウェイ」

エコツーリズムの推進

JR東日本では、各地のすばらしい自然との関わりをテーマにし、自然を体験するさまざまな旅を提供しており、2005年度は約8,000名の方ご参加いただきました。

特に日本で初めてユネスコ世界自然遺産として登録された白神山地の魅力体験する「白神山地トレッキング」については、約1,000名の参加があったほか、その裾野を広げていくことを目的に、「会員制倶楽部白神山地ブナの学校」を2006年4月に設立。会員を対象とした首都圏などでの「出前講座」の開催や会員誌の発行などにより情報発信しています。

また、各地の駅から気軽に自然などを楽しめる「駅からハイキング」も継続して実施しています。2005年度は、367回実施、約24万名のご参加をいただきました。



「会員制倶楽部白神山地ブナの学校」では、観光と自然保護の両立をめざす白神山地に関する情報を発信しています



気軽に自然を楽しむ点などが人気の「駅からハイキング」

地域と連携した森づくり

鉄道沿線からの森づくり

1992年からJR東日本グループ社員の社会貢献活動の一環として、各支社で植樹を行い、地域の皆さまにも参加していただいています。2005年度までに約3.4万人が参加、25万本を植樹しました。

各支社では、自治体などとのタイアップ開催や、ハイキングイベントと植樹を組み合わせるなど、多くの方にご参加いただけるよう工夫して取り組んでいます。例えば仙台支社では、西若松駅舎改築完成式に合わせてイベントを開催し、多くの地元の皆さまとともに300本を植樹しました。



各支社で開催している「鉄道沿線からの森づくり」には2005年度までに3.4万人が参加

安達太良ふるさとの森づくり

2004年から福島県安達郡大玉村の国有地に取り組んでいます。

土地本来の木である22種を選定し、3年間かけて4.5万本の苗木を自然に近いかたちで密植、自然淘汰などを経ながら「ふるさとの森」をつくりあげていく計画です。

3回目となる2006年は、雨天であったにもかかわらず、JR東日本グループ社員のほか、地元の皆さんや一般の方にも多数ご参加いただき、前回より100名多い800名の参加となりました。なお、ホームページにて植樹の様子や成長の様子をお伝えしています。



地元の福島県大玉村の皆さんにもご協力いただき、3年間で4.5万本を植樹しました

秋田下浜海岸植樹

羽越本線沿線の秋田市下浜海岸にJR東日本はクロマツを主体とした鉄道林を所有していますが、近年、松食い虫などの被害により立ち枯れの状態となっています。

JR東日本秋田支社は、(財)イオン環境財団と共催で、2006年5月に「秋田下浜海岸植樹」を開催しました。秋田県内の主要駅やイオングループの店頭で募集したボランティアなど950名にご参加いただき、広葉樹を主体に29種類の苗を1万本植樹しました。鉄道林の再生を通じ、沿線自然環境保全に資する活動として、来年も引き続き開催する計画です。



(財)イオン環境財団と共催した「秋田下浜海岸植樹」950人が1万本を植樹しました

鉄道でエコキャンペーン

JR東日本は、国土交通省と鉄道事業者が協力して、身近な環境対策として鉄道の利用を呼びかける「鉄道でエコキャンペーン」に参加しています。鉄道は自家用車などと比較して1人あたりのCO₂排出量が少ない乗り物です。鉄道の利用が地球温暖化などの環境問題の改善につながることを広く知っていただき、利用を呼びかけることを目的としています。

2005年10月のスタート以降、JR東日本では、キャンペーンの実施と鉄道の環境負荷の少な

い特性をお知らせする車内広告を首都圏の全路線にて掲出するとともに、各地で開催される環境イベントにおいても情報発信を行い、多くの方にその特性をご紹介しました。人の移動に伴う環境負荷低減に向け、今後もご利用いただきやすい鉄道づくりを進めるとともに、鉄道の環境面での優れた特性について理解促進に努めていきます。

仙台支社、秋田支社、高崎支社、水戸支社のイベントの様子

中吊り広告

